EXILIM【エクシリム】

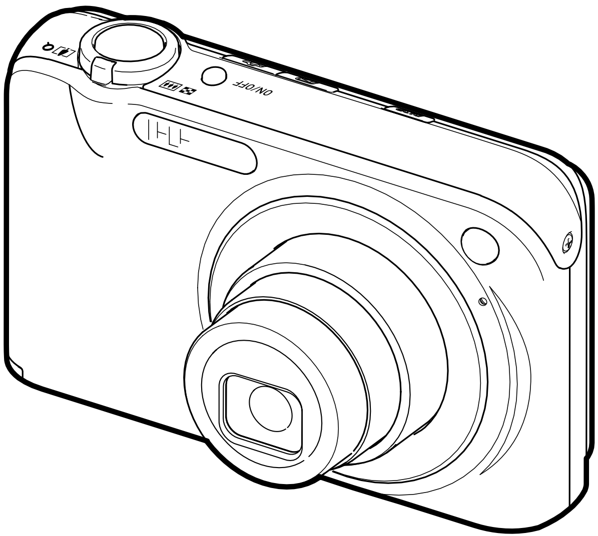
J Z

液晶デジタルカメラ

EX-Z1200

取扱説明書
(保証書付き)

すぐに使いたいかたは
ここをご覧ください　9ページ



ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト(http://dc.casio.jp/)またはカシオホームページ(http://casio.jp/)でご覧になることができます。

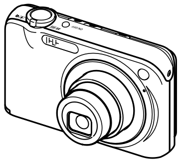
K846FCM1PKC

CASIO®

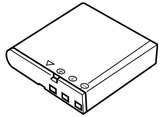
そろっていますか

箱を開けたら、以下のものがすべてそろっているか確認してください。そろっていないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

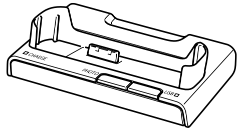
■ デジタルカメラ本体



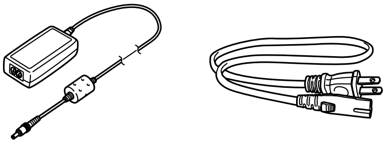
■ リチウムイオン充電池（NP-40）



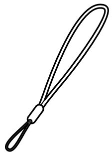
■ USBクレードル（CA-36）



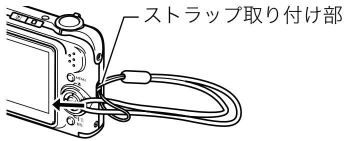
■ 専用ACアダプター（AD-C52G）/電源コード



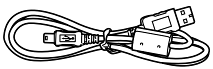
■ ストラップ



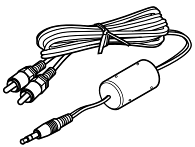
取り付けかた



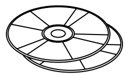
■ USBケーブル



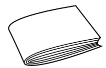
■ AVケーブル



■ CD-ROM



■ 取扱説明書（本書）（保証書つき）



目次

付録 180

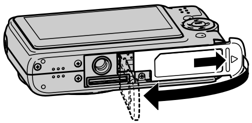
すぐに使いたいかたはここをご覧ください

箱を開けたら

電池を充電する

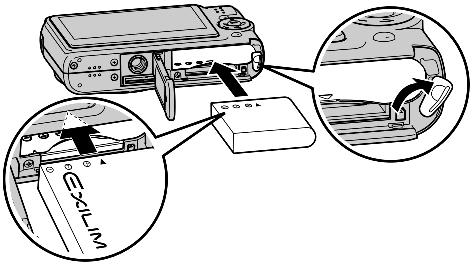
■ 電池を入れる

1. 電池カバーを開ける

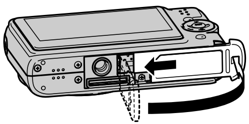


軽く押しながら矢印の
方向にスライドして
カバーを開ける

2. 電池を入れる



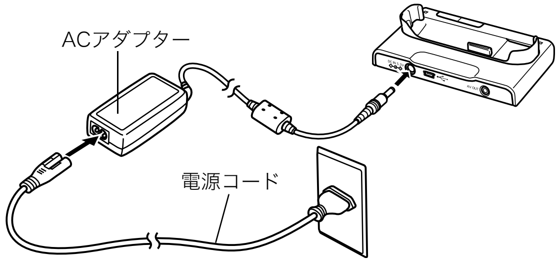
3. 電池カバーを閉める



(詳しくは→25ページ)

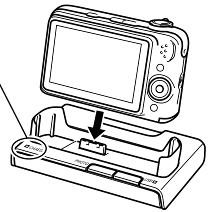
■ USBクレードルを使って充電する

1. USBクレードルを家庭用コンセントに接続する



2. カメラをUSBクレードルにセットする

【CHARGE】ランプ
赤:充電中
緑:充電完了(フル充電)
- 約3時間でフル充電されます。



メッセージの言語を選び、日付と時刻を合わせる

（詳しくは→142、144ページ）

お買い上げ後、初めて電源を入れたときに必要な操作です。

- 日本で使う場合の操作例です。
- 表示言語や日時を間違って設定した場合、設定し直すことができます（142、144ページ）。

1. 【ON/OFF】を押して電源を入れる

2. 【▲】【▼】【◀】【▶】を押して“日本語”を選び、【SET】を押す

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】を押して日本のエリアを選び、【SET】を押す

4. 【▲】【▼】を押して“Tokyo”を選び、【SET】を押す

5. 【▲】【▼】を押して“切”を選び、【SET】を押す

これで、サマータイムにはなりません。

6. 【▲】【▼】を押して日付の表示スタイルを選び、【SET】を押す

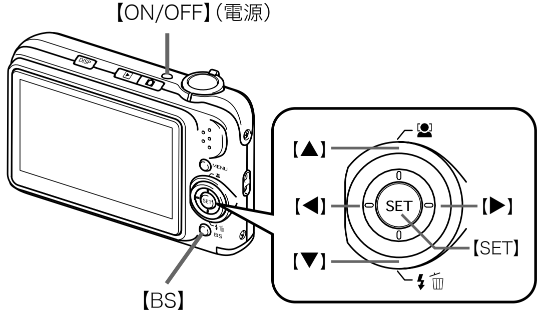
例）2007年12月19日

“年／月／日” → “07/12/19”と表示
“日／月／年” → “19/12/07”と表示
“月／日／年” → “12/19/07”と表示

7. 日付と時刻を合わせる

【◀】【▶】で年、月、日、時、分を選び、【▲】【▼】で数字を合わせます。
12時間／24時間表示を切り替えるには、【BS】を押します。

8. 【SET】を押す



【ON/OFF】を押していったん電源を切り、次に進んでください。

メモリーカードを準備する

■ メモリーカードを入れる

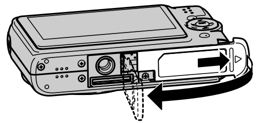
本機で撮影した画像はメモリーに保存されます。

参考

- 高画質の静止画、大きなサイズの静止画を何枚も撮影したり、長時間の動画を撮影したいときは、市販のメモリーカードをお使いください。
- メモリーカードがなくても、カメラに内蔵のメモリーを使って撮影できます。次の「静止画を撮影する」(13ページ)に進んでください。
- メモリーカードは当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト(http://dc.casio.jp/)をご覧いただくか、本書巻末記載の「カシオお客様相談室」にお問い合わせください。
- メモリーカードに保存できる枚数については197ページをご覧ください。

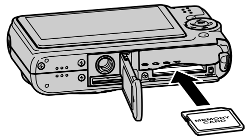
(詳しくは→32ページ)

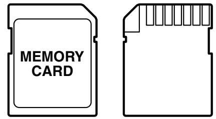
1. 電池カバーを開ける



軽く押しながら矢印の
方向にスライドして
カバーを開ける

2. メモリーカードを入れる

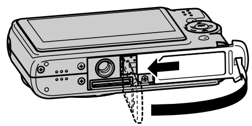




表面　　裏面

メモリーカードの表面を上(液晶モニター側)にして、カチッと音がするまでしっかり押し込む

3. 電池カバーを閉める



■ メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードを最初にカメラに入れたときは、カメラで使えるようにするために、「フォーマット」という作業をします。

重要

- すでに静止画などが保存されているメモリーカードをフォーマットすると、その内容がすべて消去されます。フォーマットは普段行う必要はありませんが、画像の記録速度が遅くなったなどの異常が見られる場合にフォーマットしてください。
- メモリーカードは、必ずカメラを使って以下の手順でフォーマットしてください。

1. 【ON/OFF】を押して電源を入れる

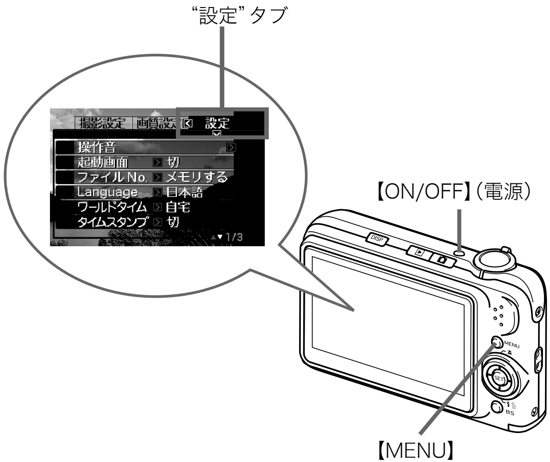
2. 【MENU】を押す

3. 【◀】【▶】を押して"設定"タブを選ぶ

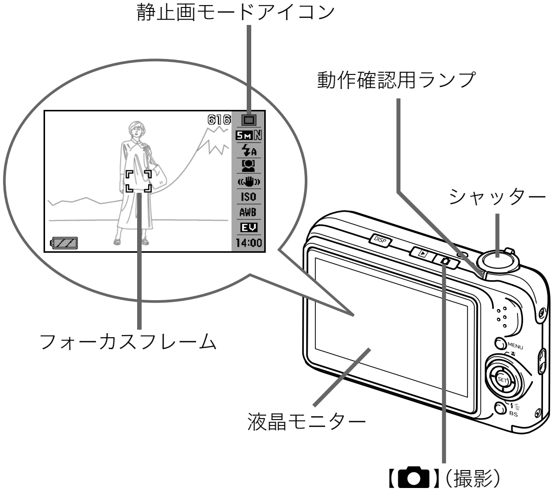
4. 【▼】を何回か押して"フォーマット"を選び、【▶】を押す

5. 【▲】を押して"フォーマット"を選び、【SET】を押す

- フォーマットをやめるときは、"キャンセル"を選んで【SET】を押します。
- "処理中です　しばらくお待ちください"の表示が消えるまでお待ちください。



静止画を撮影する



(詳しくは→42ページ)

1. 【📷】(撮影)を押して電源を入れる

撮影モードになり、液晶モニターに“▢”(静止画モードアイコン)が表示されます。

- 液晶モニターに“▢”が表示されないときは、撮影モードを“静止画モード ”に変更してください(42ページ)。

2. ピントを合わせる

①カメラを被写体に向けます。

②カメラが動かないように気をつけながらシャッターを半押しします。
ピントが合うと“ピピッ”と音がして、動作確認用ランプとフォーカスフレームが緑になります。

3. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

撮影した静止画は約1秒表示されたあとメモリーに保存され、次の撮影ができる状態になります。

静止画の画像サイズと画質について

このカメラでは、いろいろな画像サイズや画質を選んで撮影できます。選んだ画像サイズや画質によって、撮影できる静止画の枚数は異なります。

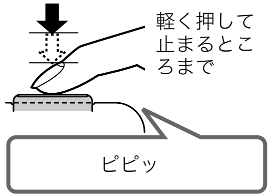
- プリンターで印刷する、メールに添付する、またはホームページに載せるなど、特定の目的のために撮影するときは、必要に応じて画像サイズや画質、プリントサイズを変更してください。

詳しくは→46、47、197ページ

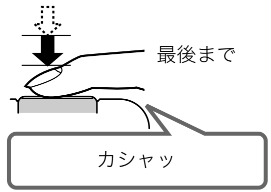
シャッターの半押しって？

シャッターを軽く押すと、いったん止まるポイントがあります。そのポイントで、それ以上シャッターを押さないでいる状態を「半押し」といいます。カメラは、シャッターを半押しすると、カメラを向けている被写体に対して自動的に露出やピントを合わせます。
どのくらいの力で押し込むと半押しになるかを覚えるのが、きれいな静止画を撮影するコツです。

半押し



全押し



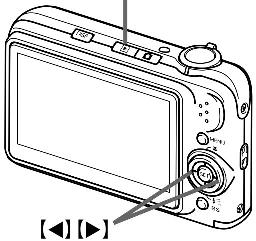
■ シャッターを半押しせずに一気に押し込んだときは

クイックシャッター(89ページ)が働き、シャッターチャンスを逃さず撮影できます。

- クイックシャッターが働くと、通常のオートフォーカスよりはるかに高速でピントを合わせるので、動きの速い被写体を撮影するときに便利です。ただし、正確にピントが合わない場合があります。
- 多少時間がかかっても正確にピントを合わせたい場合は、シャッターを半押ししてピントを合わせたあと撮影してください。

撮影した静止画を見る

（詳しくは→106ページ）



1. **【▶】（再生）を押す**

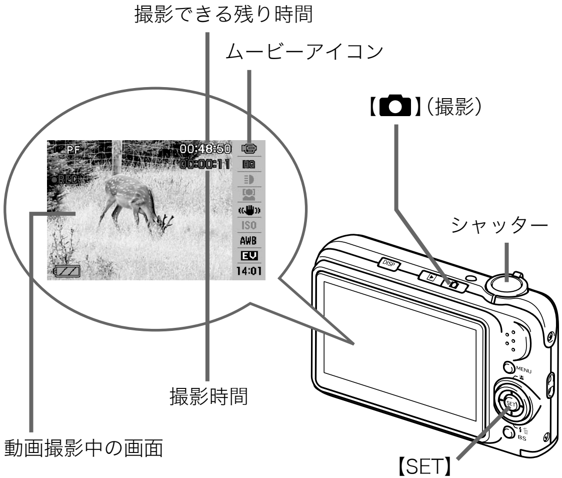
再生モードになります。

何枚か撮影してあるときは、【◀】【▶】を押して、前後の画像を見ることができます。

■ 撮影モードに戻るには

【📷】（撮影）を押します。

動画を撮影する



1. 【 】(撮影)を押す

撮影モードになります。

2. 【SET】を押す

(詳しくは→68ページ)

3. 【▲】【▼】で操作パネルの1番上の項目(撮影モード)を選ぶ

4. 【◀】【▶】で“ ムービー”を選び、【SET】を押す

液晶モニターに“ ”(ムービーアイコン)が表示されます。

5. シャッターを押して動画の撮影を開始する

- 音声も記録されます。

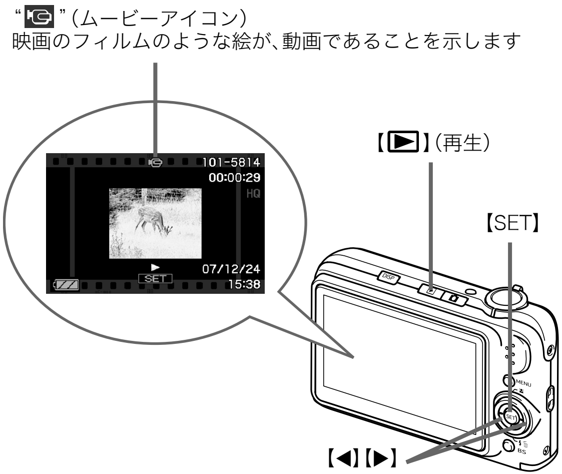
6. もう一度シャッターを押して撮影を終了する

動画の画質について

このカメラでは、動画の画質を6種類の中から選べます(UHQ、UHQワイド、HQ、HQワイド、Normal、LP)。カメラの性能を最大に活かしてきれいな動画を撮るには、“HQ”や“HQワイド”以上の画質に設定してお使いください。
画質は、再生したときの画像のきめ細かさや滑らかさ、美しさを示す目安です。画質を落としても長時間の撮影をしたい、メモリーの残り容量が少ない、といったときに“Normal”や“LP”に切り替えてください。

詳しくは→68、198ページ

撮影した動画を見る



(詳しくは→107ページ)

1. **【▶】(再生)を押す**

再生モードになります。

2. **【◀】【▶】を押して、再生したい動画を選ぶ**

動画の場合、動画の最初の画面が表示されます。

3. **【SET】を押して再生を始める**

最後まで再生されると、手順2の状態に戻ります。

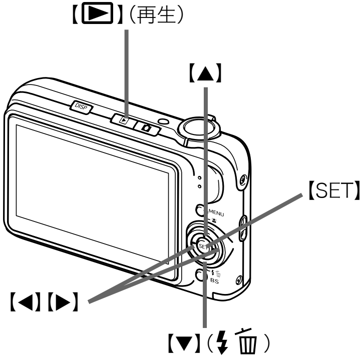
- 動画再生中に、音量を調整する、コマ送りする、などいろいろな操作ができます。→108ページ

■ 撮影モードに戻るには

【📷】(撮影)を押します。

撮影した画像を消去する

撮影した画像は次々にメモリーに保存され、メモリーの残りの容量が少なくなっていきます。必要な画像は、パソコンに取り込んだりプリンターで印刷したあとメモリーから消し、次の撮影のためにメモリーの残り容量を増やしてください。



(詳しくは→138ページ)

1. 【▶】(再生)を押す

2. 【▼】(⚡🗑)を押す

3. 【◀】【▶】を押して、消去したい静止画、動画を選ぶ

4. 【▲】を押して“消去”を選ぶ

- 消去を中止するときは“キャンセル”を選びます。

5. 【SET】を押す

選んだ静止画、動画が消去されます。

- さらに消去を続けるには、手順3から繰り返します。
- 消去の作業を終えるときは、【MENU】を押します。

はじめに

特長

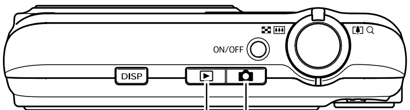
■ カメラ内蔵のサンプル画像を選ぶだけで、きれいに撮れるベストショット機能

「夜景と人物を写します」「花を写します」など、撮りたいシーンを選ぶだけで、最適な設定で撮影されます。独立した【BS】ボタンで操作性が格段に向上しています。

例：人物をきれいに撮りたいとき



■ 希望のモードで電源オン



見たいときは【▶】で再生モードに

撮りたいときは【📷】で撮影モードに

■ 撮影に便利な機能いろいろ

- 人物の顔をきれいに撮影できる顔認識撮影（63ページ）
- シャッター速度の高速化と、手ブレ補正機能搭載により、手ブレ・被写体ブレを軽減（91ページ）
- フラッシュを使わなくても暗くなることを防ぐ高感度撮影（77ページ）
- シャッターチャンスを逃さず撮影可能なクイックシャッター機能（89ページ）
- 高画質（H.264）の動画撮影が可能（68ページ）

■ プリント機能も充実

- 日付印刷や印刷枚数の指定が簡単にできるDPOF機能（151ページ）
- 画像データ上に日付が焼き込めるタイムスタンプ機能（100ページ）
- PictBridge、USB DIRECT-PRINTに対応。この規格のプリンターがあればパソコンがなくても自宅でプリント可能（148ページ）

あらかじめご承知ください

■ 液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

■ 著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像／動画フォーマットファイル、音声／音楽フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償･無償に関わらず権利者に無断でネット上で記載したり、第三者に配付したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- SDHCロゴは商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows Media、Windows Vista、およびDirectXは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime、QuickTimeロゴ、およびiPhotoは、Apple Inc.の商標です。
- MultiMediaCardは、独Infineon Technologies AG社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）にライセンスされています。
- MMC*plus*はMultiMediaCard Associationの商標です。
- Adobe、およびReaderは、米国Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Ulead、Ulead VideoStudio、およびMovie Wizardは、Ulead Systems, Inc.（ユーリードシステムズ社）の商標です。
- HOTALBUMおよびHOT ALBUMロゴは、コニカミノルタフォトイメージング（株）の登録商標または商標であり、ホットアルバムコム（株）にライセンスされています。
- EXILIM、Photo Loader、およびPhoto Transportは、カシオ計算機（株）の登録商標または商標です。
- Photo Loader with HOT ALBUMは、HOT ALBUMとPhoto Loaderをベースに開発された、カシオ計算機（株）およびホットアルバムコム（株）の著作物であり、著作権およびその他の権利は、これらに帰属します。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

本製品に付属するソフトウェアを、無断で営業目的で複製（コピー）したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

当製品には、イーソル株式会社のリアルタイムOS、PrKERNELv4が搭載されています。

PrKERNELv4®

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 万一、Photo Loader with HOT ALBUM、Photo Transport使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

■ 撮影前はためし撮りを

- 必ず事前にためし撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

■ データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。
  - カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いたり、USBクレードルにセットまたは取りはずした
  - 電源を切ったときに動作確認用ランプが緑色に点滅している状態で電池やメモリーカードを抜いたり、USBクレードルにセットまたは取りはずした
  - 通信中にUSBケーブルがはずれたり、USBクレードルからカメラやACアダプターがはずれた
  - 消耗した電池を使用し続けた
  - その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります（195ページ）。メッセージに対応した処置をしてください。

■ 使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリの多い場所
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  - 日中の車内、振動の多い場所

■ 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、電池カバーを開けたまま数時間放置してください。

■ 電源について

- 必ず当社の専用リチウムイオン充電池（NP-40）をお使いください。他の電池は使用できません。
- 本機には時計専用の電池は入っていません。電池やUSBクレードルで電源が供給されていないと、約12時間で日時がリセットされますので、その場合は再度設定してください（142ページ）。

■ レンズについて

- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズの特性（歪曲収差）により、撮影した画像の直線が歪む（曲がる）場合がありますが、故障ではありません。

■ カメラのお手入れについて

- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- フラッシュ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、フラッシュ面には触れないでください。フラッシュ面の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ 撮影画像の確認について

- 本機での通常の再生表示は縮小画像のため、撮影した画像の詳細を確認することができません。本機では画像を拡大して表示させる機能がありますので、大切な写真等を撮影されたときは、撮影された画像を拡大表示して、画像の確認をしていただくことをおすすめいたします（115ページ）。

■ 充電式電池の取り扱いについて

- リサイクルのお願い

Li-ion

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.com/

- 使用済み充電式電池の取り扱い注意事項
  - プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
  - 被覆をはがさないでください。
  - 分解しないでください。

■ USBクレードル／ACアダプターご使用時のご注意

禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・事故・感電の原因となります。
- ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターの電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターの電源コードを抜き差しする際は、必ずカメラをUSBクレードルから取りはずした状態で行ってください。
- 充電中、USB通信中、フォトスタンド機能使用中、ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターの電源コードをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターの上に毛布などがかぶさらないようにしてください。火災の原因となります。

■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄／譲渡するときのご注意

本機の「フォーマット」や「削除」機能では、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、内蔵メモリーのデータは「フォーマット」機能（146ページ）で完全に消去してからカメラ本体を廃棄・譲渡することをおすすめします。

■ その他の注意

- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。